



平成20年 7月31日

各 位

住友化学株式会社
東京都中央区新川二丁目27番1号

(コード番号) 4005

(上場取引所) 東京、大阪

(問合せ先) 経理室部長 酒井 基行

(03) 5543-5265

当社子会社(田岡化学工業株式会社)の特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社子会社である田岡化学工業株式会社は、特別損失の計上により平成20年5月9日に開示いたしました業績予想を別添資料のとおり修正いたしましたので、お知らせします。

以 上



平成 20 年 7 月 31 日

各 位

会社名 田岡化学工業株式会社
 代表者名 取締役社長 加藤 壽郎
 (コード番号 4113 大証第 2 部)
 問合せ先 事業支援室部長 小和田 晴彦
 (TEL 06 - 6394 - 1221)
 当社の親会社 住友化学株式会社
 代表者名 社長 米倉 弘昌
 (コード番号 4005 東証・大証第 1 部)

特別損失の発生及び業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ

平成 21 年 3 月期の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成 20 年 5 月 9 日に開示いたしましたが、このたび、下記の通り特別損失を計上することとなりましたので、その概要をお知らせするとともに、平成 21 年 3 月期の第 2 四半期累計期間及び通期の業績予想について、下記の通り修正いたします。

記

1. 特別損失の計上

当社は、平成 19 年 9 月 28 日付けで、当社淀川第二工場における生産活動を終了する旨を決定、発表するとともに、工場跡地及び工場建屋等の有効活用策を検討してまいりました。その結果、本日開催の取締役会において、跡地の売却を前提とした土壌浄化工事を先行して実施することを決定いたしました。この決定に伴い、平成 21 年 3 月期の第 2 四半期において、工場建屋等の除却損失として約 1 億円、ならびに土壌浄化費用として約 6 億 40 百万円を計上することといたしました。

2. 平成 21 年 3 月期 連結業績予想数値の修正

(1) 第 2 四半期累計期間(平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期(第 2 四半期累計期間)純利益
前回発表予想 (A)	8,800	190	150	90
今回修正予想 (B)	8,800	190	150	410
増減額 (B - A)	0	0	0	500
増減率 (%)	0%	0%	0%	-

(2) 通期(平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	19,100	850	760	450
今回修正予想 (B)	19,100	850	760	70
増減額 (B - A)	0	0	0	520
増減率 (%)	0%	0%	0%	-

3. 連結業績予想の修正理由

当期における売上高につきましては、現在のところほぼ予定通り推移しております。利益面につきましては、「1. 特別損失の計上」に記載した特別損失を計上するため、当初予想を下回る見通しであります。

こうした動向を踏まえ、第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきまして、当期純利益の修正を行うものです。

4. 平成21年3月期 個別業績予想数値の修正

(1) 第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期(第2四半期累計期間)純利益
前回発表予想 (A)	8,600	140	100	50
今回修正予想 (B)	8,600	140	100	420
増減額 (B - A)	0	0	0	470
増減率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	-

(2) 通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	18,700	750	680	380
今回修正予想 (B)	18,700	750	680	110
増減額 (B - A)	0	0	0	490
増減率 (%)	0.0%	0.0%	0.0%	-

5. 個別業績予想の修正理由

当期における売上高につきましては、現在のところほぼ予定通り推移しております。利益面につきましては、「1. 特別損失の計上」に記載した特別損失を計上するため、当初予想を下回る見通しであります。

こうした動向を踏まえ、第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきまして、当期純利益の修正を行うものです。

6. その他

なお、配当の予想については中間期末、期末とも現時点で変更ありません。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって予想と異なる結果となる可能性があります。

以上